

県内3社目

ヨシダエルシス(株)がグランプリ

第52回グッドカンパニー大賞最高賞

畜産用資材・機械器具製造、鶏舎・倉庫等建築のヨシダエルシス(株)が、吉田卓司代表取締役社長、御坊市藤田町吉田155-1が、公益社団法人中小企業研究センター主催の第52回(平成30年度)グッドカンパニー大賞の最高賞・グランプリを受賞した。全国の中小企業から経済的、社会的に優れた成果を上げている企業を顕彰するもので、県内からは過去12社が受賞しているが、グランプリは(株)島精機製作所、ノーリツ鋼機(株)に続いて3社目。

今回は45件の応募があり、17社が受賞。グランプリは2社、優秀企業賞は9社、特別賞は5社、新技術事業化推進賞は1社。表彰式は来年2月4日午後2時から東京の経団連会館で行われる。

ヨシダエルシス(株)は創業



グランプリに選ばれたヨシダエルシス(株)

者の故・八五郎氏が昭和33年に日本で初めての配餌方式による手押し給餌機を開発して基礎を築いた。40年に法人化後、自動給餌装

置、自動集卵装置等を開発し、それらを組み合わせた全自動養鶏システムを完成させた。全自動養鶏システムは国内鶏舎の主流で、

シェアは業界トップの約30%を占める。鶏の産卵率、生存率、飼料要求率等の成績が良く、故障も少ないと好評を得ている。

日々、品質の改良、低コスト化に努め、鶏舎建築と内部設備をあわせた総合ソリューション会社の強みを発揮し、畜舎はもとより鶏糞処理施設やGPセンター、一般の大型倉庫や物流センター等の建設や断熱工事も手がけている。平成20年に地域経済を支えながら国内外の市場で活躍する中小企業を顕彰する経済産業省の「明日の日本を支える元気なモノ造り中小企業300社」に選定された。